



発行 二松学舎  
学法人  
東京都千代田区三番町6-16  
03(3261)7407  
https://www.nishogakusha-u.ac.jp



# 2022年4月開設 歴史文化学科、大学院国際日本学研究科

## 文学部 歴史文化学科

二〇二二年四月開設に向けて準備を進めてきた文学部「歴史文化学科」について、令和三年八月二十六日付で文部科学省から、設置届受理の通知があった。

文学部に新設される歴史文化学科では、歴史学の視点から日本と世界を学び、歴史と文化に関する基礎知識を体得、広く社会に貢献できる人材を育成する。

「古代から現代までの日本の歴史と文化が広く深く学べる」「世界の歴史を背景に東洋の思想と芸術文化が学べる」と、二松学舎ならではの「歴史文化」の学びがあり、一年次では、総合的な教養や、文学、歴史、文化

などに関する基礎知識を修得、二年次に三つの専攻(日本史専攻/欧米・アジア史専攻/思想・文化史専攻)から自分が学びたい分野を選択し、本学に蓄積された古典文献などの研究や実際に歴史的な場所を訪れて行うフィールドワークなどを通して四年次までの三年間、専門的知識を深めていく。

## 大学院 国際日本学研究科

なお、新学科開設に伴い、二二年度から文学部の入学定員(一年次)は次のように変更となる。  
国文学科 二百四十人  
中国文学科 九十人  
都市文化デザイン学科 五十人  
歴史文化学科 六十人

二二年度四月、大学院に

二二年度四月、大学院に

は、東洋から日本を、日本から東洋を、人文社会科学の視座から多角的に研究する舞台として、国際日本学研究科が開設される。

## 附属高校野球部

# 3年ぶり、夏の甲子園出場



附属高校野球部一同(柏キャンパスのグラウンドで)

二松学舎大学附属高校は二〇二二年八月一日、東京ドームで行われた第百三回全国高校野球選手権東京大会決勝戦で、連覇をねらう関東第一高校と対戦。五対二で勝利し、東京百三十校の代

表として三年ぶり四回目の甲子園出場を決めた。今年の夏の甲子園大会は、荒天の影響で開会式が一日遅れの八月十日となり、十三日に予定されていた附属高校と西日本短大附属高校の初戦(二回戦)も約一週間遅れの二十日に実施された。

プロ注目のエースを要する西日本短大附属との試合は、予想通り一点を争う接戦となったが、六回裏の附属高校の攻撃で、浅野雄志、丸山丈司両選手のタイムリーヒットで二得点。その後、七回から九回を秋山正雲投手の力投で守り切り、二対〇で勝利した。試合の順延が続き、調整の難しい中での見事な勝利だった。

ベスト8進出をかけた二試合目(三回戦)の対戦相手は京都国際高校。試合は、初回到四番・関遼輔主将のタイムリーヒ



市原勝人 監督

甲子園出場が、コロナ禍の中、二松学舎にかかわる皆さまの少しでも元氣になれば、それだけで

も意義のあるものだったと思います。十年間に四回の出場は、確実に力をつけた証しで、選手たちにとって自信につながっています。これからも努力と精進を重ね、また甲子園に出場したいと思っています。



関遼輔 主将

多くの方々の支えや努力で今年の夏の大会が開催され感謝しています。今年、市原監督が育

成功労賞」の表彰で甲子園に行くことが決まっていたので、東京大会に優勝し、一緒に甲子園に行くことができ、うれしかったです。今回出場できたのは、皆さんの応援が力になったからです。ありがとうございます。ごさいまし



秋山正雲 投手

今年の夏の大会では、たくさん応援していただき、ありがとうございます。

これからも、野球部の先輩たちが甲子園を目指して頑張ると思いますので、引き続き応援、よろしくお願ひします。

## 145th anniversary 百四十五周年記念事業 検討進む

と算盤」を活用した一斉授業(附属高等学校)

これらを念し、学校法人二松学舎では、「百四十五周年記念事業準備委員会」で記念事業についての検討に入った。

現在実施を検討している主要事業は次の通り。

◇「明治10年からの大学ノート 二松学舎のあゆみ 145周年記念版」の刊行

◇「論語と算盤」渋沢栄一と二松学舎」の刊行

◇「創立記念碑及び創立由来等説明板」の設置

◇九段1号館への柱巻き設置

◇「創立記念碑及び創立由来等説明板」の設置

◇九段1号館への柱巻き設置

◇シンポジウム、講演会などのイベント

◇「論語と算盤」を活用した一斉授業(附属高等学校)

◇「論語と算盤」を活用した一斉授業(附属高等学校)

※これらの内、二〇二二年度中に実施する事業は8面参照。

◇「論語と算盤」を活用した一斉授業(附属高等学校)

◇「論語と算盤」を活用した一斉授業(附属高等学校)

# 教育研究振興資金

(附属高校野球部甲子園出場支援)

学校法人二松学舎は、二〇〇七年平成十九年十二月から二松学舎教育研究振興資金の募金活動を行っています。

今回は、附属高校野球部の甲子園出場に伴い二〇二一年八月二日から九月三十日まで募集いたしました「第百三回全国高等学校野球選手権大会支援募金」の内、八月三十一日までにご入金いただき事務処理などが完了した方のご芳名を掲載いたします。今回掲載できなかった方につきましては次号(八十六号)に掲載いたします。また、通常の教育研究振興資金に募金いただいた方につきましても次号に掲載いたしますのでご了承ください。

ご芳名は、申込書や振込用紙、インターネットなどの申し込みフォームに記入されたご依頼人氏名の表記(敬称略)とさせていただきます。(掲載を辞退された方々のご芳名は除かせていただいております)

こちらには寄付者芳名を掲載しています。  
詳しくは本紙をご確認ください。

こちらには寄付者芳名を掲載しています。  
詳しくは本紙をご確認ください。

# ガバナンス・コードを制定

二〇二二年四月一日  
 「学校法人二松学舎・二松学舎大学 ガバナンス・コード」を制定・公表した。  
 私立大学の存在意義は、建学の精神・理念にあり、それに基づく独特の学風・校風が自主性・自律性として尊重され、個性豊かな教育・研究を行う機関として発展してきた。私立大学は、社会の発展と安定に不可欠な極めて厚い中間層の形成に大きく寄与し、また、

地域社会において高等教育へのアクセスの機会均等と知的基盤としての役割も果たしてきた。  
 学校法人二松学舎とその設置校である二松学舎大学は、今後とも、建学の精神に基づく、私立大学としての使命を果たしていくために、また、教職員はその使命を具現する存在であるために、日本私立大学協会の「私立大学版ガバナンス・コード」を規範としたガバナンス・コードを制定し公開した。  
 「学校法人二松学舎・二松学舎大学 ガバナンス・コード」には、  
 ◇私立大学の自主性・自律性(特色ある運営の尊重)  
 ◇安定性・継続性(学校法人運営の基本)  
 ◇教学ガバナンス(権限・役割の明確化)  
 ◇公共性・信頼性(ステークホルダーとの関係)  
 ◇透明性の確保(情報公開)  
 が定められている。学校法人二松学舎、二松学舎大学は、これに基づき、適切なガバナンスを確保して、時代の変化に対応した大学づくりを進め、また、中期的な計画を策定・公表し、学生やその保護者を始めさまざまなステークホルダーに対し、二松学舎大学における、私立大学としての教育、研究及び社会貢献の機能を最大化し、価値の向上を目指していく。

## 永年勤続表彰

十月十四日、九段一号館十二階役員会議室において永年勤続表彰が行われた。

本年は、勤続三十年九名、勤続十五年五名の計十四名が表彰された。表彰者は次の通り。  
 (敬称略・五十音順)  
 ◆三十年勤続  
 大学教員  
 白石まりも  
 大学事務職員  
 今西 直子  
 坂巻 茂紀  
 志村 孝  
 西園 隆士  
 附属高等学校教諭  
 永井 哲一  
 千葉 儀胤

附属柏高等学校教諭  
 沢口 誠  
 米沢 一良  
 ◆十五年勤続  
 大学教員  
 飯田 幸裕  
 島田 泰子  
 五月女肇志  
 大学事務職員  
 中嶋 剛  
 附属高等学校教諭  
 神戸 竜二

## アキバラボの機能を 九段5号館へ

二〇一七年四月、文学部都市文化デザイン学科新設に伴い、日本のポットバルチャーの中心である秋葉原に開設された学習・文化発信施設「アキバラボ」。

講義や講演、秋葉原駅周辺で行うインタビュー調査などのフィールドワークをはじめ、都市文化デザイン学科のほとんどが、二二年三月でその役割を終えることとなった。  
 アキバラボのグループエリアは、九段5号館六階に移設され、同年四月から活用が始まる。このフロアは、都市文化デザイン学科に限らず、学生ならだれでも利用できる施設とし、演習室とし



でも利用できるよう整備される予定だ。

## 柏キャンパス

# グラウンド整備が完了 授業、部活で有効活用

柏キャンパス整備事業の一環として工事を行ってきた、柏キャンパス・大学グラウンド(柏校舎2号館裏の野球場)の整備工事が十月四日に完了した。  
 この工事は、グラウンドの美観を向上させ、さらに授業・部活等で陸上競技用走路としても有効活用できるようにすること

これまで、都市文化デザイン学科では、授業の多くがアキバラボで行われてきたが、九段5号館への移転により、今後は、新設される歴史化学科を含め、他の学部・学科との交流もより活発になる。



この工事は、グラウンドの美観を向上させ、さらに授業・部活等で陸上競技用走路としても有効活用できるようにすること

とを目的としたもので、改修の内容は次の通り。  
 ◇大学グラウンド入り口(バックネット側)  
 アプローチ周りおよび1塁・3塁側フェールゾーン、グラウンド内周にゴムチップウレタンを敷設。  
 ゴムチップウレタン舗装の特徴は、ゴムとウレタンの弾力性により、衝撃吸収性に優れ、適度なクッション性は走りやすく、転倒時の安全性も高い。また、透水性、通気性にも優れており、雨の日でも滑らず、乾燥も早い。また、雨上がり直後のプレーも可能となる。  
 ◇グラウンド内周にU型側溝(野球場内野部分のみゴム蓋付き)  
 U型側溝内の七カ所に、雨水を効率的に地中へ浸透させるための雨水浸透枡を設置。短時間の集中豪雨に排水路が対応しきれず、U字側溝内が溢れるということなどを防ぐことで、降雨後のグラウンド・コンディション

の速やかな回復を促進する。これらの整備の完了により、今後は、柏キャンパスで行われている体育の授業や課外活動がより快適なものとなる。

## 「お札せんべい」 二松学舎サーピスで販売

「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一は、一九一九(大正八)年、第三代二松学舎舎長に就任し、二松学舎の発展に尽力した。  
 その渋沢が採用された新一万円札(二〇二四年度発行予定)をモチーフとした「お札せんべい」が新商品として二松学舎サーピス(株)から販売されている。箱入り(二十枚)(六枚入り)は、自宅用として便利だ。



## 『二松学舎教育研究振興資金』寄付のお願い

学校法人二松学舎では、学生・生徒の教育環境向上のため、恒常的に「二松学舎教育研究振興資金」の寄付金募集を行っております。  
 この募金は、寄付金の使途を指定することができ、さらに、税制上の優遇措置が受けられます。

左記にご連絡いただければ専用払込用紙をお送りいたします。お申し込み方法の詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。  
 ホームページからのお申し込みも可能です。何とぞ、募金活動の趣旨をご理解いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】 企画・財務課 (電話)〇三(三三六)二二九八

# 多彩な地域連携講座開講

## 夏休み子ども研究会

八月七日、二松学舎大学地域連携室主催、千葉県柏市教育委員会後援の「夏休み子ども研究会」が開催された。



「読書感想文の書き方を学ぼう！」をテーマにZOOMによるオンライン授業が浸透する中、今年度は「読書感想文の書き方を学ぼう！」がライブ配信され、作文用紙の使い方や感想文の組み立て方などを分かりやすく解説した。

の研究会。昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、残念ながら中止となったが、感染症対策の一環でオンライン授業が浸透する中、今年度は

小学校に配布したちらしや、本学ホームページでの開催案内などからの申し込みがあり、当日は、五十五名が参加した。

当日は、江藤茂博学長のあいさつの後、附属柏中学校の山崎貴大教諭講演、三年生の篠田佑人君、片倉未来さん協力による「読書感想文の書き方を学ぼう」がライブ配信され、作文用紙の使い方や感想文の組み立て方などを分かりやすく解説した。

実施後のアンケートでは、参加者の九十八%がまた参加したいと回答。「読書感想文が嫌いだったけど、本を読むのが楽しみになりました」「飽きずに最後まで参加できました」などの感想が寄せられた。

## 生涯学習講座

二〇二二年度生涯学習講座(地域連携室主催)が開催された。

毎年、春セミナー、秋セミナーの二期に分け、多彩な講座を開講してきた生涯学習講座だが、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止に。今年度は何とか開催をと検討を進め、国文学、中国文学、書道、語学、教養の五つの分野から各一名講師を招き、オンライン講座として実施。申込者五十七名を対象に、八月二十日から九月三十日の期間、動画を公開した。

開講講座は以下の通り。

【書道】講師・今川多佳子  
「文房四宝より、『筆』について」

【語学】講師・秋賢淑  
「ハンガルの字母について」

【国文学】講師・山崎哲  
「文学散歩・漱石の幼少期」

【中国文学】講師・録田勲  
「漢王朝の創業と武帝、未曾有の大帝国を実現。その内治と外征。」

【教養】講師・山田勝久  
「東西文化交流の道 シルクロードの魅力を語る」

## 我孫子高校で出張講義

二松学舎大学では、千葉県携教育に関する協定を締結している。この協定に基づき、八月二十六日、同校の「教員基礎コース養成合宿」で、岡田哲也教授の講義が行われた。



岡田教授の講義「基礎コース養成合宿」で、岡田哲也教授が「講義5A」として、「未来をつくる力」をテーマに、生徒二十一名が受講した。

十五日から二十七日に「さわやかちば県民プラザ」(柏市柏の葉)を会場に、県立我孫子高等学校・教員基礎コースの集中講座として合宿(通学方式)が行われ、同校と協定を締結する大学から、多くの教員が参加し講義を行った。二松学舎大学からは、二十六日に、岡田哲也教授が「講義5A」として、「未来をつくる力」をテーマに、生徒二十一名が受講した。

## 柏市教育委員会と連携講座

二松学舎大学では、柏市と二松学舎大学との包括的な連携に関する協定「連携事項に基づき、大学の知的資源、人的資源および物的資源を教職員研修に生かし、学校教育を通して地域に寄与することを目的に、「柏市教育委員会との連携による大学連携講座」を毎年実施している。

大学の専門性を生かし、柏市立小中学校等の教職員を対象に国語教育に関する知識・理解を深めるためのこの研修講座。通常は柏キャンパス



二松学舎大学 文学部 牧角 悦子  
の教室で行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、オンラインによるオンデマンド配信で実施。

会期も、通常一日のところを、受講者の便宜を図り、八月二十六日から九月二日までとした。今回の講座を担当したのは、文学部中国文学科の牧角悦子教授。「中国の神話と怪異」をテーマに、人間の力を超えた現象に対して、人々はそれを物語として語ることでいかに恐怖を乗り越えようとしたか。中国の古代文獻の中に豊富に存在する物語を取り上げ、怪異現象を神話や物語に変えていく講義を行った。

## 研究発表や笑いの歴史文化を考察

### 人文学会第百二十二回大会開催

七月十七日、二松学舎大学人文学会第百二十二回大会が、九段キャンパスでの対面型とライブ配信のハイブリッド方式で開催された。

今回の大会では、通常の学生・大学院生による研究発表と特別企画「笑いの歴史文化」の二部構成で行われた。

「笑いの歴史文化」は、二〇二二年四月、文学部に開設される「歴史文化学科」に関連した企画。日本芸能史を専門として、四月以降、歴史文化学科に所属となる中川桂教授(現在は国文学科所属)による落語解説、江戸の寄席、本学卒業生



中川教授(左)と燕三師匠(右)による対談

の柳亭燕三(りゅうてい えんざ)師匠による古典落語「蜘蛛籠籠(くもかご)」中川教授、柳亭燕三師匠による対談「落語の世界」が行われた。  
〈柳亭燕三師匠プロフィール〉  
東京都生まれ。二〇〇五年三月、二松学舎大学文学部中国文学科卒業。卒業論文題目は、「中国笑話と江戸落語―『笑話』『学様』から落語『野晒し』への経緯』。  
卒業後、同年七月、柳亭市馬に入門。前座名は「市丸」。〇九年六月二十一日、二ツ目昇進、市江と改名。二一年三月二十二日、真打昇進、柳亭燕三を襲名。主な持ちネタは、『熊の皮』『しの字嫌い』。

# 「九段祭POP2021」開催

## 文化系クラブ・サークルが発表会



中洲記念講堂での「ピング大会」

六月二十七日、九段1号館で「九段祭POP2021」が開催された。「九段祭POP」は、例年六月に九段キャンパスで、在学生に向けて行われる文化祭で、行事のコンセプトの決定、企画・発案や実行を学生会執行委員会が行ない、文化系クラブ・サークルによる発表会などが行われる。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止となったが、今年度は対面活動の一部制限、オンライン配信を併用して実施され、「アカペラサークル Voice of Nature」や「落語研究会」

「現代舞台研究会」「軽音楽部」「三番町フォーク村」「国際ボランティアサークル Blue Bird」など、十四団体が参加。展示発表や演奏会等、全学生を対象とした各クラブ・サークル等のPR活動、学生会執行委員会主催によるピング大会、パフォーマンス大会などが行われ、参加団体の他、四十二名の学生が来場した。コロナ禍で活動が制限される中、感染拡大防止対策を徹底しつつ、新たな形の文化祭となった。



韓国語講師を招いて行われた「韓国語レッスン」

六月二十九日、国際交流センターは、韓国語初級者から中級者程度までの学生を主な対象とし、学内で無料で受講できる「韓国語レッスン」(①対面講座・九段5号館5階国際交流スペースで四十分②オンライン講座五十分)を実施し、それぞれ八名、七名が受講した。外部から韓国語講師を招いて、最近の韓国文化に触れ、気軽に韓国語を楽しむことができるこの講座。受講した学生からは「初めて参加してみまし

たが、最初から最後まで楽しめました！機会があればぜひまた参加したいです」「少人数だったので、普段の授業より密接に学習することができたのでとても良かったと思う。韓国文化に興味があるので、それを交えて学習できたのも楽しかった」「K-POPが好きで韓国語を習得したくて参加しました。本当に初級編から始めてくださって、分かりやすかったです。韓国語習得に当たって、おすすめのYouTubeチャンネルの紹介もあり、勉強に対してのモチベーションが上がりました」など好評だった。

**オンライン**  
**海外語学研修**  
八月九日から八月二十

# 国際交流センターで語学講座開催

## 夏休みオンライン海外語学研修も

### 外国語課外講座 (韓国語)

七日まで、二松学舎大学に在学する全学生を対象に、国際交流センター主催による二〇二一年度夏期オンライン短期海外語学研修(オーストラリア・サザンクロス大学)が開講され、四名が参加した。

研修は一日三時間(週十五時間)、「週五時間のバーチャルオーストラリアアクティビティ」を三週間かけて行うオンラインプログラムで、バーチャルアクティビティでは、コアラ病院やウルル(エアーズロック)の見学、ホームステイ体験などを行った。

参加した学生からは「非常に優しく、理解の

るのが難しい現在、自宅にいなからネイティブの生きた英語に触れることができ、また、研修終了者には単位認定もされる。

研修は一日三時間(週十五時間)、「週五時間の英語研修」と「週五時間のバーチャルオースト

ラリアアクティビティ」を三週間かけて行うオンラインプログラムで、バーチャルアクティビティでは、コアラ病院やウルル(エアーズロック)の見学、ホームステイ体験などを行った。

参加した学生からは「非常に優しく、理解の

ある先生ばかりでした。そのため発言する際、言葉に詰まっても親身に対応していただいたこと、また授業では話しやすい環境の中、一人一人の発言を肯定的に受け入れていただいたことがとてもうれしかったです」などの感想が聞かれた。

の全国大会出場を果たした。

チームは決勝の舞台で最高のパフォーマンスを見せ、全国大会五位入賞という素晴らしい結果を出した。

また、ソロバトルに「Butterfly effect」の澤内尚太さん(三年生)が出場、多くの強敵に打ち勝ち、全国ベスト4に輝いた。

# 附属高校部 ダンス

# 全国決勝大会に出場

## 日頃の練習の成果を発揮

附属高校ダンス部が、九月二十四日から二十六日まで福岡県北九州市小倉の北九州ソレイユホールで開催された第十一回全日本高等学校チームダンス選手権大会全国決勝大会に出場した。

参加したのは、小編成の「Butterfly effect」(九名)はさ

と大編成の「チーム二松」の二チーム(全三十一名)。大会では、「ダンス技術(テクニク)」「音感技術(選曲・リズム感・音楽の解釈等)」「構成技術(パッケージング・フォーメーション等)」の三つの視点から審査が行われた。

小編成の「Butterfly effect」(九名)はさまざまな大会で毎回入賞してきたチーム。今回の全国大会では残念ながら入賞は逃したが、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、大会に参加した他地域の強豪校からも称賛される演技を見せた。

大編成の「チーム二松」(二十二名)はほとんどのメンバーが初心者として入部しダンスを始めたチーム。コロナ禍の影響でチーム運営が難しい中、少しずつ目標設定を上げて努力を続け、今回

〈最終結果〉  
団体総合 全国七位  
小編成 全国十四位  
大編成 全国五位  
ソロバトル 全国四位



Butterfly effect



チーム二松

秋山投手は野球部のエースとして活躍し夏の甲子園大会でも初戦の西日本短大付属高校を完封するなど、素晴らしい投球を見せた。

千葉県流山市出身の秋山投手は、地元チームからの指名に「ストリートと気持ちの強さを生かしてチームのエースになりたい」とプロへの意気込みを語った。

現在、プロ野球界には、広島東洋カープの



左から、本城学校長、秋山投手、市原監督、立野淳平部長

プロ野球ドラフト 十月十一日、プロ野球ドラフト会議が開催され、野球部三年生の秋山正雲投手が千葉ロッテマリーンズから四位指名を受けた。

秋山投手は野球部のエースとして活躍し夏の甲子園大会でも初戦の西日本短大付属高校を完封するなど、素晴らしい投球を見せた。

千葉県流山市出身の秋山投手は、地元チームからの指名に「ストリートと気持ちの強さを生かしてチームのエースになりたい」とプロへの意気込みを語った。

現在、プロ野球界には、広島東洋カープの

附属柏中学・高校

モチベート・セッション開催

附属柏中学校・高等学校では高等学校で二回、中学校で一回、テレビドラマ「ドラゴン桜」の監督を行った現役東大生・西岡孝誠氏を講師を招いて、モチベート・セッションを行った。

高校一年生全コースを対象に行われた第一回セッション「線を越える」リアルドラゴン桜誕生のきっかけでは、自身の体験談「偏差値35からどうして東大を目指したのか?」「東大を目指す中で見えてきた、勉強の楽しさ」「線を越えて戦うことの意義」から、受験勉強の意義を語った。



附属柏中学校



附属柏高校

「特進コース」の生徒を対象に行われた第二回セッション「どうすれば成績が上がるのか」では、①「インプットばかりでアウトプットしていない勉強法」②「どう問われるかが意識できていない勉強法」③「意味を考えずに勉強していて、意味を答えられない勉強法」をテーマに、やればできるようになる勉強の三要素「インプット(勉強の内容を覚える)」「質問(どのように問題で問われるかを意識して勉強する)」「アウトプット(勉強する意味を考え、多面的なものを見方や考え方を身につける)」の大切さについて語った。

二〇二二年度 大学入学者の出身高校等一覧

「二松学舎新聞」第八十四号・四面に掲載した「二〇二二年度 大学入学者の出身高校等一覧」に誤りがありました。ここに改めて掲載いたします。関係者の皆さまにご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを、謹んでお詫びいたします。

文学部

◆北海道 函館大学 属有斗・クラーク記念国際 第一

- ◆福島県 郡山
◆茨城県 太田第一
◆鉾田第一・土浦第三・筑波
◆水海道第一・牛久
◆水戸桜ノ牧・藤代紫水
◆牛久栄進・明秀学園日立
◆茨城キリスト教学園
◆常磐大学・水城・常総学院
◆水戸学院・鹿島学園
◆岩瀬日本大学・土浦日本大学
◆栃木県 宇都宮女子
◆茂木・宇都宮北・作新学院
◆群馬県 前橋南・前橋商業・桐生・太田(市立)・高崎北
◆埼玉県 熊谷・春日

- ◆青森県 八戸北
◆岩手県 水沢・一関
◆秋田県 秋田北・大館鳳鳴
◆福島県 郡山
◆茨城県 太田第一
◆鉾田第一・土浦第三
◆筑波
◆水海道第一
◆牛久
◆水戸桜ノ牧
◆藤代紫水
◆牛久栄進
◆明秀学園日立
◆茨城キリスト教学園
◆常磐大学
◆水城
◆常総学院
◆水戸学院
◆鹿島学園
◆岩瀬日本大学
◆土浦日本大学
◆栃木県
◆宇都宮女子
◆茂木
◆宇都宮北
◆作新学院
◆群馬県
◆前橋南
◆前橋商業
◆桐生
◆太田(市立)
◆高崎北
◆埼玉県
◆熊谷
◆春日

- ◆磯辺
◆市川東
◆柏(市立)
◆千城台
◆津田沼
◆野田中央
◆船橋芝山
◆松戸六実
◆鎌ヶ谷西
◆松戸馬橋
◆成田北
◆市原八幡
◆千葉西
◆市川昂
◆柏の葉
◆成田
◆千葉敬愛
◆千葉経済大学附属
◆東葉
◆千葉黎明
◆和洋国府台女子
◆千葉英和
◆千葉明德
◆敬愛学園
◆日本体育大学
◆我孫子二階堂
◆二松学舎大学附属
◆柏
◆我孫子
◆拓殖
◆松学舎大学附属
◆柏
◆拓殖
◆大学紅陵
◆東京学館
◆植草学園
◆東京学館
◆東京学館浦安
◆志学館高等部
◆市原中央
◆秀明大学学校
◆教師学部附属秀明八千代
◆わせがく
◆中央国際
◆東京都 足立
◆井草
◆上野
◆江戸川
◆大崎
◆小岩
◆江北
◆杉並
◆墨田
◆川
◆竹台
◆日本橋
◆東
◆深川
◆三宅
◆雪谷
◆調布
◆南
◆城東
◆成瀬
◆飛鳥
◆芦花
◆稔ヶ丘
◆板橋有徳
◆葛飾総合
◆東久留米総合
◆世田谷総合
◆王子総合
◆共立女子
◆正則学園
◆東洋
◆二松学舎大学附属
◆関東国際
◆國學院
◆実践女子学園
◆桐朋女子
◆京華
◆昭和第一
◆獨協
◆岩倉
◆上野学園
◆桜丘
◆駿台学園
◆成立学園
◆瀧野川女子学園
◆東京成徳大学
◆武蔵野
◆北豊島
◆日本大学第一
◆安田学園
◆共栄学園
◆修徳
◆関東第一
◆立正大学付属立正
◆目黒学院
◆多摩大学
◆目黒
◆八雲学園
◆大森学園
◆恵泉女子学園
◆佼成学園女子
◆駒場学園
◆下北沢
◆成徳
◆大妻中野
◆文化

- ◆学園大学杉並
◆十文字
◆城西大学附属城西
◆淑徳
◆巣鴨
◆豊南
◆帝京
◆八王子学園
◆八王子
◆明星
◆錦城
◆白梅学園
◆明治学院
◆東村山
◆NHK学園
◆明星学園
◆神奈川県 鶴見
◆横浜
◆浜平沼
◆希望ヶ丘
◆市ヶ尾
◆瀬谷
◆川崎(県立)
◆百合丘
◆平塚江南
◆七里
◆茅ヶ崎北陵
◆秦野
◆厚木
◆東
◆座間
◆生田東
◆橘
◆厚木西
◆秦野
◆厚木
◆川総合
◆横浜南陵
◆横須賀総合
◆藤沢総合
◆横浜サイエンスフロンティア
◆横浜雙葉
◆慶應義塾
◆武相
◆横浜創学館
◆大西学園
◆鎌倉学園
◆鎌倉女子学院
◆北鎌倉女子学園
◆向上
◆相模原(私立)
◆立花学園
◆横浜隼人
◆柏木学園
◆横浜富士見丘学園
◆新潟県 小千谷
◆長岡向陵
◆北越
◆富山 水橋
◆石川県 北陸学院
◆山梨県 山梨
◆日本航空
◆長野県 長野東
◆諏訪二葉
◆松本深志
◆豊科
◆長野日本大学
◆東京都 市大学塩尻
◆静岡県 沼津中央
◆静岡富士見
◆静岡雙葉
◆浜松学芸
◆藤枝明誠
◆愛知県 尾北
◆滋賀県 米原
◆兵庫県 第一学院
◆奈良県 飛鳥未来
◆広島県 崇徳

- ◆山口県 大津緑洋
◆松陰
◆宮崎県 宮崎大宮
◆鹿児島県 甲南
◆沖縄県 N
◆そのほか 高校卒業程度認定試験
◆大学入学資格検定
◆国際政治経済学部

- ◆山口県 小松市立
◆山梨県 山梨学院
◆日本大学明誠
◆長野県 佐久長聖
◆エクセラン
◆岐阜県 高山西
◆静岡県 常葉大学附属
◆浜松学芸
◆三重県 桜丘
◆奈良県 飛鳥未来
◆岡山県 鹿島朝日
◆広島県 福山誠之館
◆大分県 昭和学习園
◆そのほか 高校卒業程度認定試験
◆大学入学資格検定

# オープンキャンパス 2年ぶりに開催

## 高校教員対象説明会も開催

### オープンキャンパス

二年ぶりの開催となる来場型オープンキャンパスが、七月十六日、八月二十一日、二十二日に二松学舎大学九段キャンパスで開催された。三日間とも、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、午前の部、午後の部に分け、学部ごとに定員を文学部百四十名



オープンキャンパス「歴史文化学科説明会」



オープンキャンパス「教員による個別相談会」

(二回)、国際政治経済学部六十名(二回)として事前申し込み制で開催された。

教職員や学生も含め参加者全員がマスクの着用を徹底し、「学部・学科説明会」や新学科の「歴史文化学科説明会」「入試制度説明会」「各学科模擬授業」「総合型選抜講座」は、各教室で座席の間隔を十分に開けて実施。

また、担当教員が対面で参加者の相談に応じる「教員による個別相談会」は、教員と相談者の間にアクリル板を設置して行われた。さらに、例年、在学生が学内を案内して回る「キャンパスツアー」は実施せず、参加者に自由にキャンパスを見学してもらおう形式をとり、図書館では、館員が参加者

を迎えた。事前申し込みの早い段階で満員になる企画などもあり、人数を制限する中でも、多くの来場者を得たオープンキャンパス。参加した受験生からは、「今回の説明会や自由見学に参加し、二松学舎大学の良さを肌で感じ、こちらに入学したいと思いました」などの声がかかれた。

### 高校教員対象説明会

六月二十四日、九段1号館で「高等学校進路指導部教員対象大学説明会」がオンラインと来場型の併用で行われた。

オープンキャンパス同様二年ぶりとなったこの説明会。宮城、福島、栃木、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡、新潟の高等学校を対象に、来場者の定員を五十名とし、事前に出欠を確認して実施した。

方谷と中洲、沢沢のそれぞれの歴史と三人の絆を解き明かしている。

また、二松学舎が最寄り駅に掲出している看板も「わたしたちの二松学舎をキヤッチコピーに、創立者・三島中洲、漢学塾で学んだ夏目漱石、嘉納治五郎、平塚らいてう、二松学舎第三代会長・沢沢一之のイラストを配したデザインに一新する。

さらに、同じデザインを用いたドアステッカー広告が、十月から東葉高速鉄道に掲出されている。

# くまもと文学・歴史館で横溝展

## 本学資料を多数展示、山口教授の講演も

七月十六日から九月二十三日まで、熊本県立くまもと文学・歴史館(熊本市中央区)で企画展「没後40年 横溝正史展」が開催された。

二〇二〇年、同館で熊本市中央区の作家・乾信一



山口教授によるオンライン講演「横溝正史旧蔵資料」から「八つ墓村」「獄門島」「犬神家の一族」などの原稿や草稿、文箱や眼鏡など愛用品、総計三千八品の資料が貸し出され、展示された。

企画展の関連イベントとして、本学文学部・山口直孝教授による講演「愚痴」「漫談」が伝える創作の舞台裏。乾信一朗宛横溝正史書簡の意義が行われた。

# 百四十五周年記念事業始まる

学校法人二松学舎は、来年(二〇二三年)十月十日、創立百四十五周年

を迎える。これを記念した、さまざまな事業(一面参照)の一環として、

二〇二二年六月十八日、新書版書籍『言語と算盤』沢沢栄一と二松学舎 山田方谷・三島中洲から沢沢栄一への陽明学の流れ(学校法人二松学舎編/朝日新聞出版)が刊行された。

「日本資本主義の父」と呼ばれる沢沢栄一。その理念「言語と算盤」

「道徳経済合一説」は二松学舎の創立者・三島中洲の「義利合一論」に大きな影響を受けたと言われ、二人は長く親交を深めた。

本書では、三島中洲の師で、備前松山藩(岡山県高梁市)の財政立て直しに辣腕(らつわん)をふるった陽明学者・山田

また、担当教員が対面で参加者の相談に応じる「教員による個別相談会」は、教員と相談者の間にアクリル板を設置して行われた。さらに、例年、在学生が学内を案内して回る「キャンパスツアー」は実施せず、参加者に自由にキャンパスを見学してもらおう形式をとり、図書館では、館員が参加者

方谷と中洲、沢沢のそれぞれの歴史と三人の絆を解き明かしている。

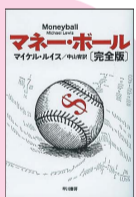
また、二松学舎が最寄り駅に掲出している看板も「わたしたちの二松学舎をキヤッチコピーに、創立者・三島中洲、漢学塾で学んだ夏目漱石、嘉納治五郎、平塚らいてう、二松学舎第三代会長・沢沢一之のイラストを配したデザインに一新する。

さらに、同じデザインを用いたドアステッカー広告が、十月から東葉高速鉄道に掲出されている。

### 私の一冊 45

## 『マネーボール(完全版)』

国際政治経済学部専任講師 菊地 宏樹



マイケル・ルイス著 (中山晋房訳)

イクシオンである。前書に基づいた分析をもとに有きに「野球はスポーツで、望選手を発掘するという手法ではなく金銭ゲームになった。手法をとり、球団の改革てしまった」というフレを進める。

一ズが出てくる。これは、 昨今、データに基づく優良な成績を望めるのは、意思決定の重要性が強調。大物選手を集めることがされている。実際、本学でできる金持ち球団だけだの国際経営学科の現行力として夢破れたヒリー・ピという意味である。このリキウムにおいても、インが、ゼネラルマネー中でのヒリーは、目の肥えたスカウトに有望選手をぶ統計学が必修とされて貧乏球団を強豪チームへ見いだしてもらおう従来の手法ではなく、データにデータに基づく意思決る。

定がどのようなものかを野球という身近な題材で感じることができると本書である。 もちろん、このような手法に対して、冷たさや人間味のなさを感じ、受け入れがたいという感想をもつこともあるだろう。 もちろんこのやり方が唯一最善のものではない。ただ、ものの考え方の視点があることを知ってもらえれば幸いである。